

スキャンツール必須整備の時代

# 平成29年2月より車検が変わりました。



車検の検査方法や審査などを行なう独立行政法人自動車技術総合機構は、平成29年2月1日より道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の改正として「警告灯（メーター内のインジケータランプ）が点灯又は点滅している自動車は車検の審査を行わない」と発表しました。対象となる警告灯とは、前方エアバッグ、側方エアバッグ、ブレーキ、ABS、原動機（エンジン）の以下5種類。いかなる理由があっても、エンジンを始動した後にこれらのインジケータが点灯した状態では「車検審査を受けることができない」としています。



前方の  
エアバック

側方の  
エアバック

ブレーキ

ABS

原動機

車検に役立つ!注目のスキャンツール!

認証工場推奨モデル

Evolution Diagnostic Tool

# TPM-R

ALL IN ONE

スマホと連携可能。自動車メーカー20社（国産乗用車8社・国産大型車4社・欧州車7社・OBDIIコードリーダー）に対応したオールインワンスキャンツール



工場に1台から、1人に1台保有を  
可能にする低価格!  
導入費用 35,000円(税抜)から。

**SMART DIAG**  
スマートダイヤク



11月26日(日)  
日産部品機工展示会